

# 岐阜大学工業倶楽部 関西支部会報 第13号

## 第13号発刊によせて

関西支部 支部長 岡田 敏嗣（電気 1974）

支部会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃から当支部の諸活動にご協力とご支援を頂き、心より御礼申し上げます。支部 会報 第13号の発刊にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が国内で発症してから2年以上経過しましたが、一向に収まるどころか昨年末からはオミクロン株が急拡大し、全国36都道府県に「まん延防止等重点措置」が出されました。ようやく3月22日に全面解除になりましたが、そのリバウンドが懸念されております。

このようなことから、支部の活動もこの2年間は自粛せざるを得ない状況が続き、見学会・交流会は中止し、辛うじて役員会だけはオンライン（Zoom）会議で行うことにより、会報の発行、ホームページ（HP）の更新、更には、最大行事であります「第13回 定期総会」をZoomで開催することができました。

このようにZoomでの「定期総会」を初めて経験できたことによって、今後の「定期総会」についても会場（リアル）とオンライン（Zoom）の2元方式が可能となり、より多くの方々が参加できるのではないかと期待しています。

本年6月19日（日）に開催します「第14回 定期総会」は、会場とオンラインの2元方式を計画していましたが、残念ながらコロナの影響も残っていることもあり、Zoomで総会と講演会を行います。ご講演者は、名古屋大学との運営統合で機構直轄となり非常に注目されています岐阜大学 航空宇宙生産技術開発センター センター長小牧 博一様にお越し、演題は『航空宇宙生産技術開発センターの設立と運用について』ですので、是非ともご参加いただきますようお願いいたします。

現在、支部で直面しています課題の1つとして、前回もお話しましたように会員の減少問題です。この会員減少傾向は、本部のみならず他の3支部も同様の問題を抱えています。そのために、本部・支部が一体となって取り組みが開始され、常任理事会とは別に「小委員会」が設置されて具体的な検討が進められています。本部施策として、新入生の工業倶楽部への入会促進となる「入会案内書」の見直しと分かり易く写真付の資料を検討しています。一方、4支部（西濃・関東・関西・中部支部）においても、今春の卒業・修了生に対して「4支部の紹介とご入会のお願い」のパンフレットを写真付の資料を作成し配布しますと共に、在学生全員に配布します「就職紹介冊子」にも同様の資料を掲載する等、機会あるごとに在校生から卒業される方々へ4支部の存在を認知して貰い、合わせて入会することの意義・メリット等を周知することが先決・優先課題として実施しています。

2つ目の課題は、今まで本部から支給されていた「支部活動支援金」が大幅に削減、或いは“0”になる問題です。つまりは、支部会計の「独立採算制」を本部から求められていることです。これに対応すべく経費のさらなる削減が必要なことから、役員会の大半をZoom化することや、会員を増やすことが大切と考えています。

以上、2つの課題とも会員を増やすことが重要な課題と言えます。特に、支部の将来を考えれば若手の方々の新規入会が不可欠となりますことから、本部、他支部とも連携して、組織全体として取り組んでいく所存です。

今年12月には、岐阜大学工学部創立80周年を迎えます。記念事業も予定されておりますので、関西支部の方々の賛同とご協力をお願いいたします。

今後とも関西支部のさらなる発展のために、皆様方の一層のご支援ご協力を宜しくお願い申し上げます。



## 岐阜大学工業倶楽部 関西支部 委員会報告

### ◇総務委員会・事務局◇

総務委員長・事務局長 大森 和男（精密 1970）

#### 1. 「第13回 定期総会」のZoom開催について：2021年6月20日（日）

昨年度の「第12回 定期総会」は、コロナ禍により会員の皆様の健康と安全を最優先させて頂き中止いたしました。①本年度は何としてでも2年連続中止は避けたい ②役員以外の会員の皆様にコロナ禍で図らずも得られたZoom会議を体験して頂きたいとの思いからZoomで開催いたしました。

「定期総会」の詳しい内容については、「定期総会」後の報告書及び本年3月に発行されました工業倶楽部（本部）発行の会報（Vol. 42）に掲載していますので、省略させていただきます。



「第13回 定期総会（Zoom開催）」に参加された方々

（来賓：坪内会長（上から2段目左端黄枠）、役員：15名、会員：7名 総勢：23名）

定期総会後は、久しぶりに顔を合わせたこともあり、折角の機会なので「懇親フリートーク」を有志18名で行いました。

仕事、海外事情、学術的な話題と幅広く熱のこもった報告・紹介が75分の長きにわたりなされ、しばし時を忘れての興味深い貴重なお話を聞くことができ、大変有意義なひと時となりました。

#### 2. 「役員会」の実施状況

役員会は、Zoom形式で6回（第1～6回）、会合形式で1回（第7回）、合計7回実施いたしました。

第1回 2021年7月4日（日）12名参加 ①総会・フリートークの反省 ②「理事会」報告と今後の対応

第2回 同年9月4日（土）9名参加と9月5日（日）6名参加（実質13名参加）

「支部活動支援費」拠出の関する本部・4支部との論争について説明

支部の存在意義として「総会・講演会」「懇親会」「会報発行」「HP」が支部活動の4本柱を確認

第3回 同年11月20日（日）14名参加 ①常任理事会（10/9）・第1・2回 小委員会（9/11・11/6）報告

②「第14回 定期総会」準備 ③「会報 第13号」発行を確認

第4回 2022年1月23日（日）12名参加 ①常任理事会（12/18）・第3回 小委員会（12/4）報告

②「第14回 定期総会」準備の件：講演者候補の確認 ③安威川ダム見学会中止決定

第5回 同年3月12日（土）11名参加①第4回小委員会（2/19）報告 ②4支部から本部への「諸要望」報告

③「第14回 定期総会」準備の件 ④会報 第13号報告 ⑤クラウドファンディング依頼の件

第6回 同年3月21日（月・祝）10名参加①「第14回 定期総会」開催再検討 ②会報 第13号の見直し

③クラウドファンディングを支部として5万円行い、これに見合う額の寄付を支部内で募る。

第7回 同年4月16日（土）15名参加予定①「第14回 定期総会」Zoom開催の案内状と会報 第13号の

配布と送付依頼 ②クラウドファンディングの報告

### 3. 本部「理事会」「常任理事会」「小委員会」への参加状況

- (1) 理事会：2021年6月26日オンライン(Zoom)会議に支部長・事務局長が参加
- (2) 第1回常任理事会：2021年10月9日 Zoom 会議に支部長・事務局長が参加
- (3) 第2回常任理事会：2021年12月18日 Zoom 会議に支部長・事務局長が参加
- (4) 第1回小委員会：2021年9月11日 Zoom 会議に支部長・事務局長が参加
- (5) 第2回(11/6)・第3回(12/4)・第4回(2/19)各小委員会：Zoom 会議に事務局長が参加

### 4. 効率化ワーキンググループ活動

主要な経費の見直し対象として、「HPの更新料」の削減交渉を行い、約24%(金額で16千円)削減いたしました。

### 5. 新規会員の入会促進策の実施

4支部(西濃・関東・関西・中部支部)合同で支部紹介と会員募集の案内を分かりやすく写真入りで作成し、本部発行の会報(Vol.42)、今春の卒業生へ配布チラシ、就職先紹介冊子に掲載しました。

### 6. イノベーションプロジェクト活動は中断しています。

## ◇会報編集委員会◇

会報編集委員長 菅村 浩 (繊維 1981)

会報「第12号」は、昨年度に引き続きコロナ禍の影響により見学会・交流会が中止となった他、「定期総会」がオンライン(Zoom)となり講演会・懇親会も中止したため、4ページに縮小しました。編集作業は、オンラインのみで行いましたが、予定通り2021年4月に発行ができました。

また、本号(第13号)も同様にオンラインでの編集となりましたが、4月に発行いたします。ホームページのメンテナンスと更新を2021年6～7月にかけて行いました。

## ◇名簿管理委員会◇

名簿管理委員長 米元 孝博 (機械 1975)

- ・会員名簿作成 (令和4年3月31日)
- ・会員の動静 (令和4年3月31日)

会員数(令和3年6月1日)	増員	減員	現在の会員数(令和4年3月31日現在)	増減
142名	1	3	140名	-2名

## ◇行事委員会◇

行事委員長 塚口 義清 (機械 1971)

この2年間、コロナ禍のため見学会・交流会を中止していましたが、比較的安全な屋外の見学会として「安威川ダム見学会」を企画しましたが、オミクロン株の急激な感染拡大もあり、止む無く断念いたしました。同様に「交流会ゴルフコンペ」も「中止」しています。

## ★「第14回 定期総会」Zoom開催について

今回の「定期総会」は、昨年度と同じくZoom開催となります。

昨年度に実施しました「懇親フリートーキング」の代わりに「講演会」を行います。

- 日時 **6月19日(日) 午後2時開始 (1:45から開けています)～3:30** 予定
- 講演 **岐阜大学 航空宇宙生産技術開発センター センター長 小牧 博一氏**  
演題 『航空宇宙生産技術開発センターの設立と運用について』

## ★ 大学初の『クラウドファンディング』に寄付

今回、上記の「定期総会」でご講演いただく岐阜大学 航空宇宙生産技術開発センターが実施されています大学初の「クラウドファンディング『東海クライマックスシリーズ2022』」に関西支部として5万円を3月29日に寄付いたしました。

つきましては、この寄付金を募っていますので、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。なお、寄付については、事務局までお問い合わせください。

学生が未来に羽ばたく後押しを！東海クライマックスシリーズ



## ■ 役員紹介 ■

### ◆会計監査 平井 佳紀 (1964年 工業化学科 卒)

#### <仕事>

1964 (S39) 年大学卒業後、琵琶湖畔の電気機器メーカーに就職した。工業化学科専攻ではあったが、あえて電気関連メーカーを希望した。当時の化学工業界は、合成繊維化学が巾をきかせている時代であったが、S39年は東京オリンピックの年でもあり、世の中は大きく変動のある時期でもあった。電機メーカーと言っても「ものづくり」の企業であり、その製造の基本となるものは材料であり、材料を研究、開発、改善するのはやはり基礎となる化学が必須だと考えた。

その中で、ディスプレイの発展は非常に大きかった。ディスプレイは、発光材料の良し悪しが製品の優劣を決める大切な材料として、その開発を行ってきた事は、身の引き締まる毎日であった。

これまで40年ほどディスプレイ関連の仕事を担当してきた中で、自分の作った材料の一部が店先に並んでいたことは、開発者冥利につきるものである。

現在は電機メーカー退社して20年になった。それまでに私のやってきた表示装置など、もうすべての物がこの世から姿を消そうとしている。関連してきた商品は、真空管をはじめ、ブラウン管、蛍光灯、無機EL、プラズマディスプレイなど、新しい開発品と入れ替わってきている。

本当に寂しい限りである。

#### <趣味>

趣味は車が好きで、とにかく運転することが好きである。目的地もなく、ただ運転することもある。退職後すぐ退職金をはたいて、カッコいい車を購入した。

そのまま今でも愛用している。だからもう22年生である。走行距離が23万キロになろうとしているが、まだエンジンはすこぶる調子がいい。高齢者運転免許も昨年取ったので、車が壊れるか、本人が壊れるか、ゆるやか運転で競争している此の頃である。



#### <名簿管理委員会から会員の皆様へのお願い>

会員の皆様から頂きました“入会申込書”等の個人情報、「会員皆様への情報発信」と「会員相互の交流・連絡等」を図る重要なツールであります。これら支部活動を迅速・円滑に進めるためにも絶えず最新の情報として整理しておく必要があります。

そのため、住所、電話番号、メールアドレス等、お届け頂いている会員皆様の情報に変更が生じた場合や、メールアドレスを新規に取得された場合には、お手数ですが直ちに事務局までご連絡をお願いいたします。

今後とも会員の情報管理には万全を期し、支部活動にのみに活用させていただきますので、ご協力の程よろしく願いいたします。

#### 入会情報やあらゆる情報のご連絡、お問い合わせ先

岐阜大学工業倶楽部 関西支部 事務局長 大森 和男  
〒550-0012 大阪市西区立売1丁目4番9号

中井産業ビル4F 株式会社 光栄内

Tel : 090-3996-3306 Fax : 072-738-3369

E-mail : nrh53171@nifty.com

ホームページ : <http://gifudai-kansai.g.dgdg.jp/>

岐阜大学工業倶楽部 関西支部

発行人 支部長 岡田 敏嗣

編集人 会報編集委員会

委員長 菅村 浩

担当 湊 紀夫 井上 和夫

平井 佳紀 坂口 満明